

のびのび 田底っ子

第5号

文責：校長 益永 一幸

子どもたちが主役となって田底小をよくする ～児童会総会～

16日（木）の3校時に体育館に全校児童が集まって「児童会総会」を開きました。田底小学校の児童会は、4年生以上の児童で組織する「自分たちの学校は自分たちでよくする」という自治組織の会です。児童会には、「なかよし運営委員会」「生活委員会」「給食委員会」「環境委員会」「スポーツ委員会」「放送委員会」「図書委員会」「保健委員会」の8つの委員会があります。総会では、各委員長から、それぞれの委員会が決めた目標や活動内容などの発表がありました。発表後はフロアから「たくさんのイベントがあって楽しみだ。」という意見が出ました。

この活動は、「社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力を身に付けさせる」ことを目的とした「主権者教育」にもつながるものです。また、「自分たちのきまりは、自分たちで作って、自分たちで守る」という民主主義の基本を身に付けさせながら、自ら判断し行動できる」ことを目的とした「校則見直し」とも関連しています。今年度は「ふりかえり」という活動も充実させながら主体的な活動をしていきます。

子どもたちのさらなる主体的な活動が充実するためにも、学校では「認め・ほめ・励まし・伸ばす」教育を基本に支援・指導していきます。ご家庭でも、子どもたちの児童会活動のことも話題にしていきたいと思えます。

ホットタイム

「ツマグロヒョウモンの幼虫」とたわむれる1年生



朝から、私がプレイグラウンドを歩いたら、1年生の数人が手にたくさんの幼虫を持って私に見せに来てくれました。驚いていると、「触って」と言われても触れない私でした。次の日には虫かごをもってきて、育てている子どももいました。体験から学びへとつなげていきたいと思えました。